

新たな振興計画(素案)に対する意見
(離島過疎地域振興部会)

No.	提出者 ※敬称略	提出回	章	頁	行	(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(素案) ※累担当部局で対応方針(考え方)を作成の上、部会で審議し、結果を整理していく。	所管課
1	鯨本あつこ	第2回	4	72	21	離島における航路・航空路を含む交通・情報通信等の基盤整備の拡充、医療・介護・福祉サービスの確保、子育て・教育環境の充実を推進し、離島・過疎地域の定住条件を整備する。	離島における航路・航空路を含む交通・情報通信等の基盤整備の拡充、医療・介護・福祉サービスの確保、子育て・教育環境・ 住宅 の充実を推進し、離島・過疎地域の定住条件を整備する。	離島地域の多くでは住宅が不足している。住宅の充実がなければ、定住条件が整備できたとはいえないため、この部分にも「住宅」または「住まい」を追記したい	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 住宅の充実が定住条件の整備を図る上で重要であることから、ご指摘のとおり反映します。 住宅の充実に向けては、公営住宅の整備のほか、市町村と連携した空き家の活用や定住促進団体の整備等に取り組んでまいります。	地域・離島課
2	鯨本あつこ	第2回	5	156	21	全国の小学校や中学校から離島の小中学校や高等学校へ入学する「離島留学」について、市町村等と連携し情報発信に取り組む。	全国の小学校や中学校から離島の小中学校や高等学校へ入学する「離島留学」について、市町村等と連携し情報発信や 受け入れ団体の支援 に取り組む。	離島留学については、受け入れ団体の体制が不十分な場合に、留学生や保護者との間でトラブルが生じるケースがみられる。情報発信を支援する場合は、その後の責任も伴うため、受け入れ団体の体制を補強するサポートも同時に行ってほしい	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 全国の小学校や中学校から離島の小中学校や高等学校へ入学する「離島留学」について、市町村等と連携した 受け入れ団体の支援 や情報発信に取り組む。 市町村立の小中学校や高等学校については、県や市町村の関係部局と連携するとともに、離島の留学センターについては、離島市町村と連携し受入団体の支援のあり方について検討してまいります。	地域・離島課
3	富永千尋	第2回	5	183	1	一方、国境離島を含む本県離島の存在は、我が国南西端の(～略～)など、我が国及び国民の利益の確保と増進に重要な役割を果たしている。 (修正文案追加) 我が国の国益と国民生活に大きく寄与している離島の重要な役割に鑑み、(～略～)	また、豊かな自然環境、独自の文化を有する離島の振興発展は、社会、経済及び環境の三つの側面を調和させて取り組む必要性が高く、SDGsの理念に沿った「課題解決先進地」として位置づけ、取り組んでいく必要がある。	182pの22行目から始まる「解決の意義」について、3番目のパラグラフの後に、「課題解決先進地」としての意義を追記してはどうか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 (企画調整課) 左案のとおり修正する。 (地域・離島課) 一方、国境離島を含む本県離島の存在は、我が国南西端の(～略～)など、我が国及び国民の利益の確保と増進に重要な役割を果たしている。 また、豊かな自然環境、独自の文化を有する離島の振興発展は、社会、経済及び環境の三つの側面を調和させて取り組む必要性が高く、SDGsの理念に沿った「課題解決先進地」として位置づけ、取り組んでいく必要がある。 我が国の国益と国民生活に大きく寄与している離島の重要な役割に鑑み、(～略～)	企画調整課 地域・離島課
4	富永千尋	第2回	5	183	19	領海、排他的経済水域など(～略～)とともに、自然・文化など多様な魅力を有する島々を良質かつ貴重な観光資源として積極的に活用するなど、離島の多様かつ特色ある魅力を発信する。	領海、排他的経済水域など(～略～)とともに、自然・文化など多様な魅力を有する島々を良質かつ貴重な観光資源として サステナブルに(又は持続可能な方法で) 活用するなど、離島の多様かつ特色ある魅力を発信する。	最初のパラグラフで「持続可能な発展をたしかなものとする」としてあるので、このパラグラフでも意識して伝えてはどうか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 (地域・離島課) 領海、排他的経済水域など(～略～)とともに、自然・文化など多様な魅力を有する島々を良質かつ貴重な観光資源として 持続可能な方法で 活用するなど、離島の多様かつ特色ある魅力を発信する。	総合部会 文化観光スポーツ部会 地域・離島課
5	山城定雄	第2回	4	72	15	(7)離島における安全・安心の確保と魅力ある生活環境の創出	(7)離島 過疎地域 における安全・安心の確保と魅力ある生活環境の創出	北部三村と本部町が漏れているのかなという印象を受ける。本文には過疎地域の文言があるので、離島過疎地域における安全・安心というタイトルにすれば、やんばる三村が置き去りにされていないような感じになる。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 ご指摘のとおり第4章2(7)は、過疎地域に係る取組も含まれていることから、ご指摘のとおり、(7)のタイトルを「離島 過疎地域 における安全・安心の確保と魅力ある生活環境の創出」に修正します。	地域・離島課
6	山城定雄	第2回	6	194	5	(3)の世界とつながる北部圏域、宮古・八重山圏域の持続可能な発展	—	ごみの不法投棄であったり、ペットの問題であったり、海浜の無秩序な利用等、様々な課題がある中で、行き着く先は県民のマナーの向上なくしてそういった問題の解決はできない。ごみの問題は本文の中にも少しありますが、県民意識としてマナーの啓発を入れられないか	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 環境保全に関する住民モラル向上の施策については、P38_27～33行の「②環境保全の意欲の醸成」で記述しています。 さらに、次の文章を追加したい。 「ごみのポイ捨て・不法投棄の防止、海浜の節度ある利用等について、広く県民の環境保全意識の醸成に取り組む。」	環境部環境整備課

(別紙2-2)

新たな振興計画(素案)に対する意見
(離島過疎地域振興部会)

2021/8/30 17:11

No.	提出者 ※敬称略	提出回	章	頁	行	(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案) ※県担当部局で対応方針(考え方)を作成の上、部会で審議し、結果を整理していく。	所管課
7	山城定雄	第2回	6	199	15	北部圏域においては、世界自然遺産登録地にふさわしい人と自然が共生する環境共生型社会の構築や国際的な学術研究、世界から選ばれる持続可能な観光地の形成等に取り組む。	—	北部三村は世界自然遺産の登録地であると同時に、沖縄本島の水源地域、私は常に命の水を育む水源地域という表現を使っているが、北部三村は水源地域でもある。何らかの形で水源地域の振興に触れられないか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 (地域・離島課) 北部圏域においては、世界自然遺産登録地であり、 沖縄本島の重要な水源地であることから 、人と自然が共生する環境共生型社会の構築や国際的な学術研究、世界から選ばれる持続可能な観光地の形成等に取り組む。 (企業局) 素案の第6章3圏域別展開(1)-イ-③生活環境基盤の整備(201頁2行)において、水道水の安定的な供給を図るため、水源の保全に取り組む旨、記載しております。 具体的には、水の安定確保、水質の保全として、引き続き、堆積土砂や繁殖した植物の除去、取水量の管理等に取り組んでまいります。また、企画部との共同事業である水源地域を対象とした「水源地域環境保全事業」を実施することとしております。	福祉保健部会 地域・離島課 企業局
8	山城定雄	第2回	6	198	19	(1)北部圏域	—	世界自然遺産地域でヤンバルクイナ、西表だったらイリオモテヤマネコの事故死がかなり起きている、今年もヤンバルクイナは例年より早いペースで事故死が起きているので、このロードキルの問題や、あるいはツーリングの問題も含めて何らかの対応策を打ち出すべきではないか。	【原文のとおり】 ヤンバルクイナやイリオモテヤマネコなどのロードキル対策については、世界遺産委員会からの要請事項の1つとして、その対応を求められております。 今後は、環境省、沖縄県など関係行政機関や専門家による会議を立ち上げ、ロードキルの発生や対策の実施状況を踏まえた、遺産区域内における今後のロードキル対策の取組方針を定めることとなっております。その取組方針を踏まえ、環境部のほか、関係部局や関係自治体と連携をとりながら対策に取り組んでいきます。	環境部自然保護課
9	山城定雄	第2回	6	198	19	(1)北部圏域	—	中南部とやんばるの過疎地域の格差という問題、それを解消するための何らかの方策を書き込むことはできないか。やんばるの地域資源の付加価値をどう高めていくかということが考えられないか。	【原文のとおり】 過疎地域の対策については、P195の23行目に記載しているとおり、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づき、県過疎方針並びに県及び市町村計画を策定し、地域の実情に応じた過疎対策に取り組んでいくこととしております。 県としましては新たな振興計画と、やんばるの過疎地域を対象とする関連計画を、それぞれの目的に沿って相互に補完させる施策体系を構築することにより、当該地域の格差の解消を含めた県土の均衡ある発展に取り組んでまいりたいと考えております。	地域・離島課
10	上妻毅	第2回	4	73	33	①水道施設の整備、水道広域化の推進、水道用水の安定確保	—	①「地下水」についての沖縄県の方針をもっと踏み込んで明確にすべきではないか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 (地域・離島課) 本文P37 15行目に以下の文を追加します。 「地下水の適正な保全及び利用を図るため、特に生活用水に利用する等の地域の実情に応じ、関係団体において情報の収集並びに当該情報の整理、適正な保全及び利用に関する協議を行う組織の設置等必要な措置を講ずるよう努める。」 (水循環基本法第16条の2の規定により、国及び地方公共団体に努力が求められている。)	福祉保健部会 地域・離島課

新たな振興計画(素案)に対する意見
(離島過疎地域振興部会)

No.	提出者 ※敬称略	提出回	章	頁	行	(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案) ※累担当部局で対応方針(考え方)を作成の上、部会で審議し、結果を整理していく。	所管課
11	上妻毅	第2回	4	73	33	①水道施設の整備、水道広域化の推進、水道用水の安定確保	—	②「地下水」に関する記述は本編に次の3ヶ所あるが、【水質汚濁対策(P37「基本施策1」)、エコアイランド(P224「圏域別展開／宮古圏域」)、生活環境基盤(P227「圏域別展開／宮古圏域」)】、しかし、今後も「水質調査だけ」あるいは「宮古圏域だけ」の地下水対策で充分なのか。	【検討中】 (地域・離島課) 本文P37 15行目に以下の文を追加します。 「地下水の適正な保全及び利用を図るため、特に生活用水に利用する等の地域の実情に応じ、関係団体において情報の収集並びに当該情報の整理、適正な保全及び利用に関する協議を行う組織の設置等必要な措置を講ずるよう努める。」 (水循環基本法第16条の2の規定により、国及び地方公共団体に努力が求められている。)	福祉保健部会 地域・離島課 (環境部へ確認中)
12	上妻毅	第2回	4	73	33	①水道施設の整備、水道広域化の推進、水道用水の安定確保	—	③PFOSを含んだ泡消剤の流出が発生している中(自衛隊による流出も発生)、永遠の化学物質と呼ばれ、使用も製造も禁止されているPEAS(有機フッ素化合物)から沖縄の地下水を守ること、離島を含めて沖縄県全域の重大な課題ではないか。その上で、県内すべての離島を含む「地下水の保全と利用」について、様々な課題と今後を見据えて県の方針や施策を明確にしていだきたい。併せて、計画に明記していただきたい。	【検討中】 (地域・離島課) 本文P37 15行目に以下の文を追加します。 「地下水の適正な保全及び利用を図るため、特に生活用水に利用する等の地域の実情に応じ、関係団体において情報の収集並びに当該情報の整理、適正な保全及び利用に関する協議を行う組織の設置等必要な措置を講ずるよう努める。」 (水循環基本法第16条の2の規定により、国及び地方公共団体に努力が求められている。) (企業局) 素案の第6章3圏域別展開(2)-オ-①生活基盤の整備(213頁25行)において、「北谷浄水場の水源となる比謝川等における有機フッ素化合物について、適切な水質管理の実施等により、水道水の安全性の確保を図る。」と記載しております。 企業局としては、水道水供給事業者として粒状活性炭によるPFOS除去など、適切な水質管理の実施等により、水道水の安全性を確保してまいります。 また、素案の第4章基本施策2-(9)-ア-③米軍活動に起因する環境汚染への対応(82頁25行)において、原因の究明に努めるとともに、国に対して必要な調査と対策の実施を求める旨、記載しており、環境部など関係部局と連携しながら、比謝川等における有機フッ素化合物の原因究明等に取り組んでまいります。	福祉保健部会 地域・離島課 企業局 (環境部へ確認中)
13	上妻毅	第2回	4	74	24	④効率的な廃棄物処理施設の整備促進	—	①離島、とりわけ小・中規模の離島では、「処理能力の限界」が今後いっそう深刻な問題となる。ここにフォーカスした取組が求められているのではないかと 具体的には、「持続不可能な最終処分場」の問題、「島の処理能力の限界に伴う環境汚染」の発生が考えられる。(というより現実には進行している。) そこで、離島のゴミ処理能力の限界、持続不可能な最終処分場、環境汚染等について沖縄県としてどう考えているのか？	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 (環境部環境整備課) 離島における廃棄物の再資源化処理を含む処理コスト低減化を図る施策をP74の基本施策2(7)イ-④「効率的な廃棄物処理施設の整備促進」で掲げており、この記述に基づき取り組んでまいります。 また、P72の26行と27行の間に次の文章を追記したい。 (案) 「とりわけ、小、中規模の離島では、海上輸送コスト等、廃棄物処理コストが高くなる構造を抱えており、不適正処理や不適正保管が発生するリスクにもつながるため、廃棄物処理の効率化及びコスト低減に取り組む必要がある。」	環境部環境整備課 福祉保健部会

新たな振興計画(素案)に対する意見
(離島過疎地域振興部会)

No.	提出者 ※敬称略	提出回	章	頁	行	(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(素案) ※異担当部局で対応方針(考え方)を作成の上、部会で審議し、結果を整理していく。	所管課
14	上妻毅	第2回	4	74	24	④効率的な廃棄物処理施設の整備促進	—	②離島を含む広域での廃棄物処理を推進するには、海上輸送体制の充実不可欠であり、島嶼県沖縄の重要な政策課題と考える。 そこで、離島を含む廃棄物の広域処理にあたって沖縄県が担う役割は何か。その見解を計画へ反映して頂きたい。	【原文のとおり】 (環境部環境整備課) 廃棄物処理の広域化にあたり県が担うべき役割は、広域化計画の策定、広域化を進めるための市町村に対する技術的助言、市町村間の調整への積極的な関与などが挙げられます。 この役割に従い、P74_25行目に記載したとおり、「複数市町村による処理の広域化の促進等」に取り組んでまいります。	環境部環境整備課 福祉保健部会
15	上妻毅	第2回	4	74	24	④効率的な廃棄物処理施設の整備促進	—	③離島を含む広域での廃棄物処理を推進するには、海上輸送体制の充実不可欠であり、島嶼県沖縄の重要な政策課題と考える。 そこで、廃棄物の広域処理における海上輸送体制の充実についての見解及びそれを計画へ反映して頂きたい。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 (環境部環境整備課) 令和元年度に県が実施した離島廃棄物適正処理促進事業における調査結果によると、広域的処理における海上輸送については、各離島における廃棄物発生量が少ないため、専用船よりも定期船を活用することが効率的であるという結果となりました。 海上輸送費の低減方策について引き続き取り組むこととしており、そのことを明確にするため、P74の24行目に次のとおり追記したい。 (素案) 「④ 効率的な廃棄物処理施設の整備促進等及びコスト低減」	環境部環境整備課 福祉保健部会
16	上妻毅	第2回	4	76	18	③地域特性に応じた島内移動手段の確保	—	「島内移動手段のシームレスな連携接続」のための施策は、道路整備、バス路線の確保・維持だけではないのではないか。離島の定住条件整備、条件不利性の克服については、交通を含め、新技術の導入と活用を明確に位置づけていただきたい。計画への反映を検討願いたい。	【照会中】	基盤整備部会
17	上妻毅	第2回	6	195	18	世界的な潮流に基づく先行的なローカルルール設定は、新たなビジネス創出の推進力になるとともに、人や企業を惹きつける地域のブランド価値を高めることにつながるものである。環境等に配慮した保護の観点にとどまらず、新たなビジネスの推進力となる環境づくりや地域のブランド価値の向上に向けて、県独自の戦略的なローカルルールの設定を検討していく必要がある。	—	なぜこの文章がこの項目の中にあるのかスッキリしない。違和感が拭えない。'新たなビジネス創出' '地域のブランド価値の向上'につながるローカルルールの設定'を「小・中規模離島や過疎地域の持続可能な地域づくり」のために行うという趣旨とすると、いささか理解しにくい感がある。 もとも「新しいビジネス交流拠点」に関する文脈で取り上げられていた文章だったのではないかと、「小・中規模離島や過疎地域の項目の中に紛れ込んできたのではないかと、という印象もある。 「ビジネス交流拠点」あるいは別の項目で、改めてこの文章の位置づけを確認・検討するの一案と思うがどうか。 「小・中規模離島や過疎地域等における持続可能な地域づくり」の一環でローカルルールを扱うということであれば、取組の内容を含め、分かりやすく説明してほしい。 「ローカルルール」:特定の地域や場所、組織・団体などで適用されるルール	【検討中】 (企画調整課) 記載箇所の移動を含めて調整中。	地域・離島課 文化観光スポーツ部会 企画部企画調整課
18	文化観光スポーツ部会 (申し送り)	第3回	4	157	10	本県のリゾート地としての優位性を生かしたワーケーション需要の取り込みに向け、市町村や関係団体と連携の下、宿泊施設でのコワーキングスペースの設置支援や情報インフラの整備促進など、働きながら離島地域での休暇を満喫できる環境整備に取り組む。	本県のリゾート地としての優位性を生かしたワーケーション需要の取り込みに向け、市町村や関係団体と連携の下、宿泊施設でのコワーキングスペースの設置支援や情報インフラの整備促進など、働きながら離島地域での休暇を満喫できる環境整備に取り組む。	「休暇を満喫」ではなく「滞在を満喫」に変更して頂きたい。休暇に限定しないこと。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 テレワークも含めた取組であることから、休暇に限定されないと考えられるため、委員ご指摘のとおり反映いたします。 「働きながら離島地域での滞在を満喫」できるよう環境整備に取り組む」	地域・離島課

(別紙2-2)

新たな振興計画(素案)に対する意見
(離島過疎地域振興部会)

2021/8/30 17:11

No.	提出者 ※敬称略	提出回	章	頁	行	(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(素案) ※県担当部局で対応方針(考え方)を作成の上、部会で審議し、結果を整理していく。	所管課
19	文化観光スポーツ部会 (申し送り)	第3回	6	214	12	ICTを活用した遠隔教育や遠隔医療を推進するとともに、島しょ地域の魅力を生かしたワーケーションや空き家の利活用を促進する。		空き家の利活用を促進することが一つの文の中に入っているが、具体例がないため分かりにくい。 遠隔教育やワーケーションについてと同様具体的な取り組みを明示した方が分かりやすい。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 空き家の利活用については、市町村等において地域の実情に応じた取組が図られており、県としても市町村等と連携した空き家の活用に向けて取り組むこととしているため、委員のご意見を踏まえて以下のとおり修正いたします。 「島しょ地域の魅力を生かしたワーケーションや 移住定住住家・コワーキングスペース等としての 空き家の利活用を促進する」 ※北部、中部、南部に同じ表現で反映(P206,214,222)	地域・離島課
20	古謝安子	第3回	4	133	10	魅力ある特産品開発については、多様化・高度化する市場ニーズを的確に捉えた新たな製品開発の促進支援に取り組む。	魅力ある特産品開発については、多様化・高度化する市場ニーズを的確に捉えた新たな製品開発と 島内生産 の促進支援に取り組む。	島でお土産を探しても、島外製品が多く購買意欲をそがれる。ありきたりの油みそやちんすこう、島とうがらしでも粟国島のように、島の作物を入れて作られた価値は高い。	【確認・検討中】	産業振興部会
21	古謝安子	第3回	4	133	13	工芸産業の担い手確保については、技術研修を通し、高度な技術の継承と新たなニーズに対応できる人材の育成に取り組む。	工芸産業の担い手確保については、 島内及び島外にも求め 技術研修を通し、高度な技術の継承と新たなニーズに対応できる人材の育成に取り組む。	島内の機動力ある人材は多くの役割を担っており、新たな事業に取り組める時間がない住民が多い。島外や県外にも呼びかけ、島の魅力を体験しながら工芸産業の担い手になってもらおうと、島への定住の機会にもなる。	【確認・検討中】	産業振興部会

新たな振興計画関連体系図(案)に対する意見
(離島過疎地域振興部会)

2021/8/30 17:13

No.	提出者 ※敬称略	提出回	主要指標/成果 指標の別	基本施策番号/施策 番号	指標名	指標(案)	目標値	理由等	審議結果(案) ※県担当部局で対応方針(考え方)を作成の上、部会 で審議し、結果を整理していく。	所管課
1	古謝 安子	第1回	成果指標	2-(3) エ ①	結核患者罹患率	新規感染症患者及 び結核患者罹患数	減少する	新型コロナ感染症の他に今後も発生が世界規 模で危惧されており、保健所機能や防疫体制 を強化する指標になるため	【福祉保健部会へ申し送り】 審議箇所が他部会所管事項であることか ら、担当の部会への申し送り事項として整 理する。	保健医療部医 療政策課
2	古謝 安子	第1回	成果指標	2-(3) エ ②	感染管理認定看護 師数	感染管理専門及び 認定看護師数	増加することがで きる	専門看護師は修士課程において各科を超えて 施設全体を制御教育指導できる。認定看護師 は所属科の実践者であるため	【福祉保健部会へ申し送り】 審議箇所が他部会所管事項であることか ら、担当の部会への申し送り事項として整 理する。	保健医療部医 療政策課
3	古謝 安子	第1回	成果指標	2-(7) ウ ②	介護サービスを受け られる離島数	入所介護サービス を受けられる離島数	増加することがで きる	要介護高齢者や家族が最後まで島で生活でき るためには入所可能なサービス体制が急務。 介護サービス提供はほとんどの島で実現して いる。	【福祉保健部会へ申し送り】 審議箇所が他部会所管事項であることか ら、担当の部会への申し送り事項として整 理する。	子ども生活福 祉部高齢者福 祉介護課
4	崎原永作	第1回	成果指標	5-(4) ウ ①	医療施設に従事す る医師数(人口10万 人当たり)	-	-	現在、全体医療の中に離島医療が埋没してし まう心配がある。関連体系図の36ページの施 策展開ウ「医療・保健などの地域の安全安心を 支える人づくり」の中で、施策として医師の確保 と質の向上とあるが、成果指標として医療機関 に従事する医師数(人口10万当たり)という全 体の話だけでなく、離島医療の質をどう評価し ていくのかも含めて考える必要があるのではな いか。	【照会中】	福祉保健部会
5	鯨本あつこ	第1回	成果指標	3-(10) ウ ①	離島地域への入域 観光客数及び一人 当たり観光消費額	-	-	「施策①着地型観光プログラム等の定着」の成 果指標が入域観光客数だが、人数で数えてし まうと質がおろそかになってしまわないか。	【照会中】	文化観光ス ポーツ部会

No.	提出者 ※敬称略	提出回	主要指標/成果 指標の別	基本施策番号/施策 番号	指標名	指標(案)	目標値	理由等	審議結果(案) ※県担当部局で対応方針(考え方)を作成の上、部会 で審議し、結果を整理していく。	所管課
6	鯨本あつこ	第1回 第2回	成果指標	4-(4) ア ②	離島地域への入域 観光客数	離島地域への入域 者数	—	<p>・「施策②離島訪問の促進」の成果指標が入域観光客数になっているが、数ではないののではないか。</p> <p>・関係人口の創出であればビジネス滞在者や帰省者も含まれる。観光客に限定すると、施策が限定的なものとなり、地域にとって重要な関係人口の創出が計りにくくなる可能性がある。</p>	<p>【検討中】</p> <p>当該成果指標については、『4-(4)離島を核とする交流と関係人口の創出』のうち、『ア離島と本島・県外との交流の促進』の『②離島訪問の促進』に係る指標として設定しているところであります。</p> <p>関係人口の創出については、次の『イ離島を核とする関係人口の創出と移住促進』における施策テーマであり、本施策(②離島訪問の促進)の成果指標としては、離島訪問の促進による成果は主に観光客数として現れると考えられることから、当該指標を活用することとしております。</p> <p>また、観光の『質』を図る指標については、『一人あたりの観光消費額』等が考えられますが、他の施策(③-(2)ウ⑤『観光消費額向上に資する新たな拠点形成や観光プログラムの創出』)でも使われているところであり、どのように指標に反映させていく方法があるか等、関係部局とも意見交換してまいりたいと考えております。</p>	地域・離島課
7	鯨本あつこ	第1回 第2回	成果指標	4-(4) イ ①	国内客の離島宿泊 客数	テレワーク・ワー ケーション推進施設 利用者数	—	<p>・「施策①離島におけるテレワーク、ワーケーション等の推進」は、長崎県の五島市をはじめワーケーションを推進している地域がたくさんあって非常にいい例が出てきているが、この成果指標が「国内客の離島宿泊客数」では、どれくらい進んでいるかは測れないので、例えば「ワーケーションができる施設数」あるいは「ワーケーションとしてやってくる方の利用者数」という形も検討できるのではないか。</p> <p>・宿泊客数だけでは正確な結果が読み取れない。まずはビジネス滞在を希望するテレワーカーが利用できる施設を可視化する必要があり、そのうえでテレワーク・ワーケーションの受け入れや推進を行う施設の利用者数を把握できれば実態が読み取りやすくなると思う。</p>	<p>【検討中】</p> <p>内閣府が実施している、沖縄テレワーク施設整備事業(R2～R3)において、離島地域も含めて県内各地でテレワーク施設が整備されていることも踏まえ、ご意見のとおり、「テレワーク・ワーケーション推進施設利用者数」に指標の変更を検討したいと考えております。</p>	地域・離島課
8	鯨本あつこ	第2回	成果指標	5-(1) 施策展開	離島高校生の教育 用コンピューター1台 当たりの児童生徒 数	ICTを活用した授業 の時間数	—	<p>コンピューターの台数だけでは実際に活用されていなくても、台数がクリアできれば成果指標をクリアしたことになる。子どもたちの学びに成果があったかを計るにはICTを活用した授業時間を指標としたほうがよいのではないか</p>	<p>【原文のとおり】</p> <p>委員提案の指標を採用する場合、全学校を対象とした新たな調査が必要となることから、学校現場の負担軽減の観点から現行通りとさせていただきたいと考えております。</p>	人づくり部会

No.	提出者 ※敬称略	提出回	主要指標/成果 指標の別	基本施策番号/施策 番号	指標名	指標(案)	目標値	理由等	審議結果(案) ※県担当部局で対応方針(考え方)を作成の上、部会 で審議し、結果を整理していく。	所管課
9	鯨本あつこ	第1回 第2回	成果指標	5-(4) イ ①	「地域おこし協力隊」 及び「地域おこし協 力隊マネージャー」 数	自治会や青年団等 の自治組織に所属 する人数	-	・「施策①地域づくりをリードする人材の育成・ 確保」の成果指標が「地域おこし協力隊及び地 域おこし協力隊マネージャー数」とあるが、これ は総務省の取組だけの話なので、実際にこれ だけでは地域づくりをリードする人材の育成・確 保は分からない。また、地域おこし協力隊の定 着率の問題もあるので、本当にこの地域をリ ードする方なのかどうか疑問が残る。 ・「地域おこし協力隊」およびマネージャーだけ では限定的であり、定着率が低ければ地域づ りを担う人材になりえない。具体的に地域を支 える組織の人数を指標としたほうが良いと考 える	【検討中】 地域リーダーの確保・育成については、 住民に身近な市町村において、地域住民と連 携・協働のもと、取り組まれているものと認 識しております。 県としましては、ご提案のあった指標(案) につきましては、離島・過疎市町村で設定さ れている、地域リーダーに関連する指標を 確認するなど、適切な指標を検討してまい りたいと考えております。	地域・離島課
10	鯨本あつこ	第1回	成果指標	5-(4) イ ②	環境活動を実践す るボランティア団体 数	-	-	「施策②持続的な環境保全活動を担うボラン ティアの育成」とあるが、なぜここは環境保全活 動だけなのか？ 気になる。地域社会を支える 人づくりの点であれば、「地域福祉」や「教育」で 地域に関する活動を行っているボランティアの 育成であれば分かるため、環境保全で限定す る必要はないのではないかと考える。	【原文のとおり】 施策②では、環境保全活動を担うボラン ティアの育成、支援等について記述してい ますが、他の分野のボランティアとは、活動 趣旨や内容が異なることから、現時点では 追記することは困難と考えます。	環境部環境再 生課
11	富永千尋	第2回	主要指標	2-(7)	離島市町村における年 少・老年人口に対する生 産年齢人口の割合	離島市町村人口に対する 生産年齢人口の割合	-	生産年齢人口とは15歳以上65歳未満の人口 のことであり、あえて「老年人口」という表記を する必要はないと考えます。	【検討中】 ご意見を踏まえ、「離島市町村人口に対 する生産年齢人口の割合」に指標の変更を 検討したいと考えております。	地域・離島課
12	鯨本あつこ	第2回	主要指標	4-(4)	離島人口社会増数	-	-	離島の人口の社会増数を指すという社会 増の中身を具体的にすべき。(社会増の中身 が一体誰なのかを意識しておきたい。島の将 来を担う人を社会増の中身にしたのであれば、 例えば40代以下、年代でわけ、子育て層に する、年少人口など、誰をターゲットにするのか を明らかにしておきたい。)	【原文のとおり】 離島・過疎地域においては、人口減少に よる社会サービスの低下や地域の担い手 不足に伴う地域コミュニティ活動の存続など が危惧されており、各市町村の実情に応じ た移住定住施策が実施されております。 一方、各地域が求める人物像(ターゲッ ト)は地域毎に異なっていることから、社会 増の具体的な中身(ターゲット)を主要指標 にすることは困難と考えております。 そのため、県・市町村が移住定住施策を 促進することにより、全体的な離島人口の 社会増に繋がる現指標のとおりにしたいと 考えております。	地域・離島課

No.	提出者 ※敬称略	提出回	主要指標/成果 指標の別	基本施策番号/施策 番号	指標名	指標(案)	目標値	理由等	審議結果(案) ※県担当部局で対応方針(考え方)を作成の上、部会 で審議し、結果を整理していく。	所管課
13	上妻毅	第2回	成果指標	3-(10)ウ①	離島地域への入域 観光客数及び一人 当たり観光消費額	-	-	量を追う観光から質を重視する観光への転換 を含め、離島観光の担い手/人材の育成を主 眼とする成果指標を設定できないか。	【検討中】 ご意見を踏まえ、離島観光の担い手や人 材の育成について、どのように指標に反映 させていく方法があるか等、関係部局とも 意見交換してまいりたいと考えております。	地域・離島課
14	上妻毅	第2回	成果指標	5-(5)イ①	観光客の沖縄旅行 に対する満足度	-	-	「観光人材の育成・確保」の達成状況を「観光 客の満足度」で確認するのか。観光人材の育 成に関しては、「研修」や「資格取得」といった 具体策も考えられる。総点検報告書では「観光 人材育成研修受講者数」を挙げていた。(※平 成30年度:159名)そうであれば、「離島関係の 受講者数」や「離島での研修開催件数」も検討 事項だろう。また、第3種旅行業の「離島関係 者の資格取得件数」を指標にしてもよいのでは ないか。高品位な離島観光の振興を推進すべ く、観光人材の育成について、離島が埋没しな い指標を検討・設定していただきたい。	【照会中】	文化観光ス ポーツ部会
15	上妻毅	第2回	成果指標	4-(4)イ①	国内客の離島宿泊 客数	-	-	鯨本委員のご意見も受け、「テレワーク・ワー ケーション推進施設の利用者数」への変更は 適切な対応と思う。その上で「離島におけるテ レワーク、ワーケーション等の推進」のうち、テ レワークに関しては、離島住民のテレワーク推 進(環境整備、人材育成)がより重要ではない か。<離島の新しい雇用創出>を主眼とするテ レワーク人材育成の成果指標を検討して頂き たい。	【検討中】 離島におけるテレワークの推進を図るうえ において、離島の雇用を確保するという観 点も重要であることから、委員の意見を踏 まえ、「離島におけるテレワーク・ワーケー ション推進施設の利用者数及びテレワーク 人材等の登録者数」に指標の変更を検討し たいと考えております。	地域・離島課
16	上妻毅	第2回	計画展望値 (社会)	-	離島人口	-	-	「離島人口」に加えて、次の計画展望値を設定 してはどうか。 ◇小・中規模離島の人口 (1)37の有人離島から「宮古島」「石垣島」を 除いた35島の人口 (2)15の離島市町村から「宮古島市」「石垣 市」を除いた13町村の人口 ◇離島過疎地域の人口 (1)離島市町村と北部過疎地域4町村の19 市町村 (2)離島と北部過疎の19市町村から「宮古島 市」「石垣市」を除いた17町村の人	【照会中】	総合部会

新たな振興計画(素案)に対する意見(その他)
(離島過疎地域振興部会)

2021/8/30 17:15

No.	提出者 ※敬称略	提出回	意見内容	対応方針(考え方)	所管課
1	崎原永作	第1回	前回の部会で保健医療部が、離島関係者が集まり離島医療体系の将来構想委員会を開催するとのことだったが、その後の状況はどうなっているか。 離島医療の方向性、きめ細かな意見交換、将来構想につながる委員会の開催を検討していただきたい。	【照会中】	福祉保健部会
2	宮里哲	第1回	コロナや新たな感染症だけの問題ではなく、小規模離島は住民健診を含め職場健診もなかなか地域ではできず、沖縄本島に來たり、あるいは沖縄本島の財団が離島に行き、それでも台風で來れなかったり、いろいろな問題も抱えているので、病院船を作ることも議論に入れていただきたい。	【照会中】	福祉保健部会
3	嘉数啓	第1回	ごみ処理については離島に限らず共通の悩み。島のよっては、ごみを資源として、「捨てたらごみ、使ったら資源」という有名な言葉があるが、コストがかかっても資源化して助成する方法があればSDGsの基本理念にも合うのではないか。	【原文のとおり】 離島では、廃棄物の再資源化コストが高く、持続的にそのコストを助成金で賄い続けることは難しいことから、廃棄物の再資源化処理を含む処理コスト低減を図る施策をP74の基本施策2(7)イ-④「効率的な廃棄物処理施設の整備促進」で掲げております。各離島市町村の廃棄物処理(資源化を含む)が円滑に進む体制を整えることで、廃棄物な持続可能な資源循環を推進いたします。	環境部環境整備課

No.	提出者 ※敬称略	提出回	意見内容	対応方針(考え方)	所管課
4	宮里 哲	第1回	<p>産業の育成だけではなく、住宅も計画的に整備しないといけない。振興計画にも住宅の計画的な建替え等の促進とあるが、普通行政で造ろうとしたら公営住宅になるが、若者でそれなりの所得があっても住めるような住宅整備が必要である。</p> <p>特に都会では民間企業がアパートも造るが、小さい自治体や過疎地域では造れない。行政がどういう制度で住宅を整備していくのか、それと併せてどういう形で産業育成をしていくのか、広域も含めて逆のパターンを行政の立ち位置からしっかりと振興計画に書く必要があるのではないかと。</p>	<p>【原文のとおり】 第4章(6)ア①にて、「公的賃貸住宅等の供給を促進する」との記載がありますが、公的賃貸住宅には公営住宅以外に”地域優良賃貸住宅”があります。</p> <p>当該制度は、低額所得者以外の入居を可能としており、子育て世帯や高齢者世帯等、各地域における居住の安定に配慮を要する世帯に賃貸住宅を供給するもので、建設・改良等の整備費及び家賃低廉化が補助メニューとしてあります。集落毎の入居希望者や子育て世帯の有無など地域の実情に精通した地元市町村の役割が重要であることから、県としては、制度の実施に向けた市町村との連携など、今後ともその支援に努めていきます。</p>	土木建築部住宅課
5	上妻 毅	第1回	<p>観光に関して、担い手となる人材に関わる指数、つまり、地元で観光に関わる商品をつくる資格なり能力のある人を目標値を定めて育成していくも必要で、地元の収入、市町村なり島の収入に関わる指数が、入域客数以外にも検討すべき。</p>	【照会中】	文化観光スポーツ部会
6	上妻 毅	第1回	<p>離島医療の件だが、沖縄県全体の中で埋没してはいけない。離島に特定した枠組みの中で問題、課題、目標値を明確にしていくべき。</p>	【照会中】	福祉保健部会
7	上妻 毅	第1回	<p>離島ならではの幸福度という捉え方があっていい。コミュニティや自然環境、精神的な拠り所の結びつきで、指数にできるかどうかは分からないが、幸福度について何らかの目標や指標を検討することができないか。</p>	【照会中】	総合部会
8	富永 千尋	第1回	<p>関連体系図(案)の展望値については、ほぼ最終に近いアウトカム指標になっていると思う。例えば温室効果ガスの排出量が減って、離島人口が現状維持または増え、総生産が上がると幸福というロジックで、展望値は数値で測定可能、統計資料など客観的なもので社会経済の部分となっているが、沖縄県は、2～3年おきに県民意識調査で幸福度をアンケート調査し、離島と本島を分けて調査・分析しているため、そこもおさえておく必要がある。</p>	【照会中】	総合部会

No.	提出者 ※敬称略	提出回	意見内容	対応方針(考え方)	所管課
9	金城清典	第1回	入域人口など、数だけを追うのではなく質を求めることや、ごみの問題等も含めてどのように持続可能な社会をつくっていくのか考えていく必要がある。	【原文のとおり】 離島における廃棄物の再資源化処理を含む処理コスト低減化を図る施策をP74の基本施策2(7)イ-④「効率的な廃棄物処理施設の整備促進」で掲げております。各離島市町村の廃棄物処理(資源化を含む)が円滑に進む体制を整えることで、廃棄物な持続可能な資源循環を推進いたします。	環境部環境整備課
10	山城定雄	第1回	「持続可能な地域づくり」について、コロナ前はオーバーツーリズムが議論されてきたが、ペットやごみの不法投棄など、環境の面も非常に大きな課題となっている。ごみを落としてもらうのではなく、お金を落としてもらう戦略をしっかりと立てていく必要がある。一番の課題は人材が不足している面である。	【原文のとおり】 離島における廃棄物の再資源化処理を含む処理コスト低減化を図る施策をP74の基本施策2(7)イ-④「効率的な廃棄物処理施設の整備促進」で掲げております。各離島市町村の廃棄物処理(資源化を含む)が円滑に進む体制を整えることで、廃棄物な持続可能な資源循環を推進いたします。	環境部環境整備課 文化観光スポーツ部会
11	嘉数啓	第2回	沖縄公庫等と連携した離島シンクタンクの設定について	【確認・検討中】	地域・離島課
12	基盤整備部会	第1回	離島地域や過疎地域においては、目的地を繋ぐ公共交通ネットワークが最適なのか。目的を達成するための手段は、巡回診療や移動スーパーなども一つの解だと思われる。 例えば古宇利島の島民のソーシャルキャピタルは低くなり、地縁の希薄化という指摘がある。これは「誰一人取り残さない社会」というソーシャルインクルージョンからみれば逆行しています。希薄化の理由は船に乗らないことです。今まではある限られた便数の船に乗るために、乗船場や船内で多様なコミュニケーションが図られてきた。しかし、個々人が車で移動することにより、そのコミュニケーションが無くなりました。 離島が繋がれることによる影響の一つです。	【自由意見】 自由意見として整理。	離島過疎地域振興部会

No.	提出者 ※敬称略	提出回	意見内容	対応方針(考え方)	所管課
13	基盤整備部会	第1回	渡名喜や粟国などの小規模離島では、出産や高齢者の介護などの面でいろいろな制約があり、宮古、八重山の様な大規模離島と同様に定住条件を示すことは難しく分ける必要がある。	【自由意見】 自由意見として整理。	離島過疎地域振興部会
14	基盤整備部会	第1回	小規模離島の定住条件については、基盤整備を行うだけではなく、漁港を水産や旅客、観光など複数の用途に利用するというような基盤の総合力が重要である点も踏まえ検討する必要がある。	【自由意見】 自由意見として整理。	離島過疎地域振興部会
15	崎原永作	第2回	小規模離島、中規模離島を支援するための離島センターのようなものを検討できないか。	【照会中】	福祉保健部会
16	崎原永作	第2回	医療状況は島によって全く違うので、細かく島ごとに指標を出すことが必要ではないか。	【照会中】	福祉保健部会
17	龍秀樹	第2回	現状どこにいてもインターネットを介して必要な情報を取れるような環境にあるが、問題はそれをを使う側にあって、特に島民の方々、本当にインターネットを十分に活用できているのかどうか課題がある。本当はどこにいても簡単に情報が入手できるのだけでも、そういうことを知らずにきている、環境は整備されたが、実際そういうことが活用されてない。その課題をどうやって解決していくのか。	【自由意見】 自由意見として整理します。 離島の情報通信基盤の整備については、「2-(7)-ア②情報通信基盤の強化とICTの活用」の中で、取組みを記載しており、都市部と同等の環境を実現するため、5Gなど次世代の超高速通信環境の普及促進に取り組んでまいります。 また、デジタル化関連施策の推進を図ってまいります。	企画部情報基盤整備課、デジタル社会推進課
18	宮里哲	第2回	現振興計画の中で海底ケーブルや面整備は沖縄県を中心にやってもらって条件としては整っている。あとはいかに使いこなせるか、そういう環境をつくっていくかということが行政であり、もしかすると政治であり、通信事業者ではないか。現振興計画でやってきたことを次にどう生かしていくのか、しっかりと書き込む必要がある。	【自由意見】 自由意見として整理します。 離島の情報通信基盤の整備については、「2-(7)-ア②情報通信基盤の強化とICTの活用」の中で、取組みを記載しており、都市部と同等の環境を実現するため、5Gなど次世代の超高速通信環境の普及促進に取り組んでまいります。 また、デジタル化関連施策の推進を図ってまいります。	企画部情報基盤整備課、デジタル社会推進課

No.	提出者 ※敬称略	提出回	意見内容	対応方針(考え方)	所管課
19	宮里哲	第2回	チャーターヘリの会社があり、沖縄県と座間味村で連携をして、船が台風とか、あるいは定期ドックといったときにはヘリのチャーターに対して助成を出している。沖縄県と座間味村をはじめ周辺離島で行っている助成制度をもう一度見直して、次の振興計画でも継続してできるようにしていただきたい	【照会中】	基盤整備部会
20	宮里哲	第2回	北部に行く交通体系を見直していき、観光客にとっても、車を使う沖縄県民にとっても、交通渋滞をある程度緩和することでストレスがフリーになるために、北部にレンタカーの事業所をつくることを検討する必要があるのではないか。それができるのであれば雇用の創出につながるのではないか。	【照会中】	文化観光スポーツ部会